



病院等医療機関、
介護老人保健施設および社会福祉施設

OB・OG紹介 — 卒業生の現在 —



本間晴名さん

長岡市立黒条小学校 栄養教諭
新潟県立新潟中央高等学校卒業→新潟医療福祉
大学健康科学部健康栄養学科卒業→新潟県内の
小学校（臨時栄養職員）→長岡市立黒条小学校
栄養教諭

現在のお仕事について教えてください

学校給食の管理と食に関する指導を行っています。学校給食の管理では、栄養バランスに優れた魅力ある献立作り努めています。また、食材の選定や発注、衛生や給食施設の管理も、子どもたちに安全でおいしい給食を届ける上で大切な仕事です。食に関する指導では、給食の時間に教室へ訪問し食事のマナーや給食を活用した栄養指導を行ったり、家庭科や保健体育などの教科において、学級担任と授業を行ったりします。また、肥満傾向や食物アレルギーを持つ子どもに対して個別の栄養指導を行うことも栄養教諭の仕事です。他職種と連携し、学校給食を活用しながら、子どもたちの心身の健康を育む仕事です。

ご自身のお仕事への思いについて教えてください

「だれのために、何のためにやるのか。」この言葉を心にとめて日々仕事をしています。これは、尊敬する養護教諭が言っていた言葉です。栄養教諭は子どもたちへ食育指導を行います。大前提として安全でおいしい学校給食の提供があります。そのためには、教職員、調理員、保護者、地域の方々や業者等との連携が重要です。その際、給食室のリーダーとして衛生管理や食物アレルギーの対応等について、自分の考えを他職種へ伝えなければなりません。私はまだまだ未熟で、戸惑うことも多いですが、そのときには、子どもたちのために何ができるのかを一番に考えるように努めています。子どもたちに寄り添える栄養教諭になりたいと思っています。

高校生の頃、どんなことを考えて過ごしていましたか？

毎日が精一杯で、先のことはあまり考えていなかったと思います。ソフトテニス部に所属し、練習のため平日は朝7時には家を出て、帰宅は20時を過ぎていました。また、土日は1日練習だったため、休みの日に友達と遊びに行くことはほとんどありませんでした。3年間、部活をやりきることと、団体戦で北信越大会出場することを目標に日々過ごしていました。もちろん勉強が大切なので、部活と勉強の両立には3年間悩みました。しかし、クラスメイトや部活の仲間には恵まれ、毎日楽しく過ごしていました。

管理栄養士になった理由はなんですか？

管理栄養士は働くフィールドが広いからです。高校生の頃、進路研究を行った際、これがやりたい！と思う職業を見つけることができませんでした。しかし、研究職になってみたい、教育職にもなってみたい、スポーツにかかわる仕事をしてみたい、医療現場はどうだろう…などの気持ちはありました。また、祖父母が農家を営んでおり、幼いころから食べるのが大好きでした。このような漠然とした理由でしたが、幅広いフィールドで働ける専門職である管理栄養士を目指してみることにしました。大学の4年間でやりたいことが見つけられるといいなと考えていました。

大学時代にやっていたことはなんですか？

大学時代に楽しかったことは、大学3年の3月に行ったカリフォルニア研修です。約11日間滞在しました。日本とアメリカの管理栄養士の仕事の違いを学ぶことが目的で、病院や学校給食施設、企業の食堂等を見学し、現地の職員と交流しました。私たちも日本の病院食や学校給食の特徴、花見などの日本ならではの食文化を伝えるため、英語でプレゼンを行ったり、日本食の調理実習をしたりしました。準備は大変でしたが、大学生ならではの有意義な研修となりました。研修の空き時間には、グリフィス天文台やユニバーサルスタジオなど観光名所に行くこともできました。カリフォルニア研修は大学時代の素晴らしい思い出の一つです。

「新潟医療福祉大学でよかった」と思うことはなんですか？

栄養教諭という自分になりたい職業を見つけられたことです。新潟医療福祉大学は、臨地実習をはじめ、卒業研究やボランティア活動、海外研修等を通して、様々な分野で活躍されている方と接する機会に恵まれています。また、同じ学科の仲間はもちろん、別な分野を勉強する他学科の学生と、一緒に学ぶ機会も多いです。多様な人と関わり合うことで、自分自身の視野が広がり、やりたい職業を見つけるきっかけづくりになったのだと思います。そして、大学の先生方は、在学中はもちろん卒業してからも手厚くサポートしてくださり、応援してくださいます。とても温かい雰囲気のある大学です。みなさんも新潟医療福祉大学で夢を見つけましょう。

臨地実習ではどこに行きましたか？

臨床栄養学実習では病院へ、公衆栄養学実習では保健所へ、給食管理実習では小学校へ行きました。また、選択制でしたが、栄養教諭免許を取得するための、栄養教育実習を小学校で行いました。

最も印象に残っている臨地実習先はどこでしたか？

栄養教育実習先の小学校での実習です。2週間という短い期間でしたが、毎日同じ学級の子どもたちと過ごし、日々一緒に勉強させてもらいました。栄養教諭はこのような実習でない限り、子どもたちと1日中一緒に過ごすことはないため、学級の中の様子を知れる貴重な経験になったと思います。「給食の先生になって戻ってきてね！」という子どもたちの言葉は忘れられません。

その実習先での活動は現在のお仕事につながっていますか？

栄養教諭の職務内容についてはもちろんですが、心構えや思いなどを勉強させていただき、それは今の仕事に繋がっています。実習先の栄養教諭が言っていた「楽しい給食室でなければ、おいしい給食は作れない。」という言葉は、今現在、子どもたちへ給食を届ける上で一番大切にしていることです。明るい給食室の雰囲気づくりができるよう、日々調理員とのコミュニケーションを大切にしています。また、実習先でお世話になった先生には、今でも研修等でお会いする機会があります。声をかけてくださったり、分からないことはお聞きし、勉強させていただいたりしています。とても心強い存在です。

